

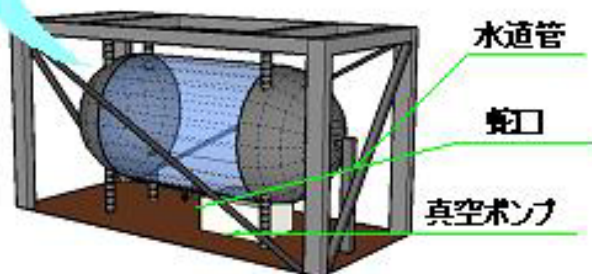
# 震災後の応急給水のための貯水槽の設計

## 提案

現在の震災時の応急給水は、給水タンク車を利用して周辺地域からの運搬給水に頼るところが大きい。  
しかし、必ずしも運搬給水が一般家庭に届くとは限らない。  
そこで、家庭できれいな水が飲めるようにするための貯水槽を提案する

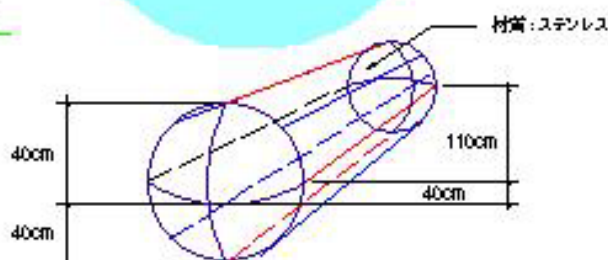
## 貯水槽の構造

- 貯水槽に水が入る入口（水道管）と水が出る（出口水道管）に水を止めるハンドルをつけておく、
- 水槽内を真空にするために真空ポンプをつける、
- 使用するときは貯水槽に蛇口をつけそこから水を飲む、



## 貯水槽内の水の量

20L×4×10=800L  
20L  
別荘に貯水できる水の必要量  
4人家族として考えよ  
20L×4×10=800L



## モデル配置図

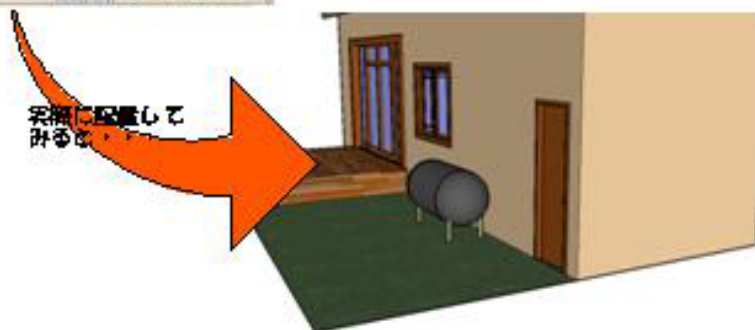


## モデル化

家族構成・・・父親、母親、子供二人の4人家族

設置場所・・・勝手口近く、勝手がよいという点と、外観を損なうことがないという点から現在位置に決定

実際に設置して  
みる。



全労工業大学  
100周年 工務科卒業  
7月13日～15日 震災後の応急給水のための貯水槽の設計  
担当: 高橋 誠一  
チーム名: 全労大  
チーム名: 全労大  
チーム名: 全労大  
チーム名: 全労大  
チーム名: 全労大  
チーム名: 全労大